

科目名	子ども学演習				開講 キャンパス	神園
担当者	松井 克行					
開講年次	3	開講期	通年	単位数	2	必修・選択 必修
授業の概要 及びねらい	この授業では、子どもを取り巻く様々な環境問題、子どもの歴史、心身の発達、遊び、子どもを対象とした表現活動、子どもの福祉など、子ども学に関する基礎知識を深める。授業では、1) 文献資料の収集、2) 調査・実験、3) レポートの作成、4) 発表や討論、5) 子育て支援体験活動を行い、主体的な学習力の向上をめざす。また、子どもに関する知識や理解を深めるため、実地見学や観察、調査などの体験的学習を積極的に行う。なお、本演習は4年次開講「卒業研究」の基礎演習として位置づけられる。					
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 子どもや教育、保育に関する問題関心を深め探求することができる。 2) 論文や文献を読んでその内容や要旨をレジュメにまとめることができる。 3) 他の学生の報告を傾聴し、質問や意見を述べることができる。 4) 日本や世界の子どもと子育て、子ども文化の歴史を理解し、特徴を説明することができる。 5) 現代の子どもをめぐる問題を理解し、解決の方向性について考えることができる。 6) 子育て支援活動の意義を理解し、その企画・立案・実行を補助することができる。 7) これまでの学びを基礎に、卒論のテーマについて考えることができる。 8) インターネットを用いた文献調査の方法を習得する。 9) アンケートやインタビュー、観察など、卒論作成に必要な調査の方法を理解する。 10) 子どもと文化、子どもと歴史、子どもの社会学習などを理解するため、フィールドワーク、博物館や遺跡の見学を計画・実施できる。 					
学習方法	論文や文献の講読、レポート作成、発表、討論、実態調査、体験学習					
テキスト及び参考書等	適宜プリント等を配布する					
評価基準・方法	到達目標					評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現		
定期試験						
小テスト等						
宿題・授業外レポート	◎	◎	◎	◎	40	
授業態度			◎	◎	10	
受講者の発表	◎	◎	◎	◎	40	
授業への参加度	○	○	◎	◎	10	
その他	遅刻2回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席とみなす。御留意下さい。					
合計					100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)						
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)						
通 年	第1週	オリエンテーション (ゼミ・教員紹介、ゼミの配属方法についての説明)				
	第2週	研究室訪問 (選択しようとするゼミの教員を訪問し、研究テーマについて話し合う)・希望調査票の提出				
	第3週	ゼミ別オリエンテーション (授業の進め方、顔合わせ)				
	第4週	「子ども学」とは何か				
	第5週	日本の「子ども」の歴史と文化 (1) 江戸時代				
	第6週	日本の「子ども」の歴史と文化 (2) 明治～昭和前期 (戦前)				
	第7週	日本の「子ども」の歴史と文化 (3) 昭和前中期 (高度経済成長時代)				
	第8週	日本の「子ども」の歴史と文化 (4) 昭和後期～平成 (低成長時代)				
	第9週	現代日本の「子ども」と子育てをめぐる問題 (1) 情報化社会 (インターネット、携帯電話)				
	第10週	現代日本の「子ども」と子育てをめぐる問題 (2) 虐待				
	第11週	現代日本の「子ども」と子育てをめぐる問題 (3) 貧困				
	第12週	現代日本の「子ども」と子育てをめぐる問題 (4) ジェンダー				
	第13週	現代世界の「子ども」と子育て (1) 西欧先進国を中心として				
	第14週	現代世界の「子ども」と子育て (2) 開発途上国を中心として				
	第15週	現代世界の「子ども」と子育て (3) グローバルな多文化社会における諸課題				
	第16週	前期のまとめ				
	第17週	子育て支援の必要性和意義				
	第18週	世界の「子ども」の遊び (1) 道具を使わずに遊ぶ				
	第19週	世界の「子ども」の遊び (2) 道具を使って遊ぶ				
	第20週	世界の「子ども」の遊び (3) 道具を作って遊ぶ				
	第21週	世界の「子ども」の遊び (4) 遊びながら学ぶ				
	第22週	子育て支援活動の計画作成				
	第23週	子育て支援活動の実際				
	第24週	子育て支援活動 (子どもミュージアム) リハーサル				
	第25週	子育て支援活動 (子どもミュージアム)				
	第26週	卒業論文とはどのようなものか				
	第27週	卒論作成にむけて (1) テーマをどう選ぶか				
	第28週	卒論作成にむけて (2) 文献検索の方法と技術 (図書館にて実習)				
	第29週	卒論作成にむけて (3) アンケート調査の方法				
	第30週	卒論作成にむけて (4) フィールドワークの方法と実習				
	第31週	まとめ				
	第32週					
備考	本授業の一環として、西九州大学子ども研究ネットワーク主催事業「子どもミュージアム」に参加する (授業計画は、受講生の学習状況に応じて、臨機応変に変更することもある)。「授業外学習 (事前学習・事後学習)」として、親や祖父母等への「昔の遊び」の聞き取り調査 (インタビュー) を予定している。授業時に学校外でフィールドワーク実習を行うこともある。					